

2025年3月1日
第585号
(毎月1日発行)

咲いたネット
URL：
http://www.saitanet.or.jp
Eメール：
saita@saitanet.or.jp



発行所
埼玉県労働組合連合会
〒330-0063
埼玉県さいたま市浦和区高砂
3-10-11 第一木村ビル
TEL 048-838-0771
FAX 048-838-0775
編集発行人
埼玉県労働組合連合会
【定価】1部50円
(組合員の購読料は組合費に含む)



今年は教育会館で

労働基準法の改悪許さずジェンダー平等の社会へ
働くなかまの春をよぶつどい

春闘期に労働法制度を学び交流する「働くなかまの春をよぶつどい」が2月15日(土)、埼玉教育会館で開催され、オンライン参加も含め100人以上が参加しました。

今回は2つのテーマの講演を企画、最初は「新時代の働き方研究会報告書」をテーマに、労働基準関係法制研究会が出した答申の危険な中身について、組合員の弁護でも活躍している小内弁護士に講演してもらいました。

講演では、現在の労働基準法が定める「最低基準」を労使合意によって適用除

外にすることができると内容が盛り込まれており、「使用者の都合のいいように悪用される恐れがある」と指摘、実際に現在時間外労働の未払い問題で裁判を行っているYさんに同席してもらい、現状でも労基法が守られていない状況の中で、規制緩和はありえないと語りました。

2つ目のテーマは「ジェンダー平等の働き方へ」と題して、全労連事務局次長の寺園さんに報告してもらいました。

国際的に大きく遅れている日本のジェンダー問題、特に国連から勧告を受けている男女間の格差について、自身の体験も含めて報告してくれました。

講演の後に、とりくみ報告として、全国一般の仲間から、労働者性を裁判で争って勝訴できた事例、埼玉ユニオンの仲間から、自身の経験も踏まえ、「労働組合として闘ってきたからこそ頑張れた」と埼玉ユニオンと出会えたことにより会社と交渉する知恵と勇気が持てたことが報告されました。

改めて春闘期に行う意義が確認できる学習集会となり、集会后は、浦和駅東口に22人が参加し、元気に宣伝を行いました。



22人参加で元気に宣伝

埼労連第52回評議会のご案内
埼労連は、2024年度上半期の運動の総括と下半期に向けた取り組みを確認するため、第52回評議会を左記の日程で開催します。
日時 3月22日(土)
午前10時分〜午後5時頃
場所 さいたま共済会館6階
議題 年度上半期の総括・下半期の運動の基調・役員補充選挙など
※評議会は現地参加のみ、1日開催で予定しています。

紙面から

- 働くなかまの春をよぶつどい (1面)
- 25春闘・経営者要請 (2面)
- 最賃・労働法制宣伝 (3面)
- 25春闘の各単産のとりくみ (4面)
- 商工会訪問 (比企労連) (5面)
- 埼労共のページ (8面)

JMITU、医労連が経営者要請 25春闘・各組織のとり組み

JMITU

JMITU埼玉地方本部は、1月30日(木)に25春闘を取り組むにあたり、考え方や日程などを経営者に伝える行動を2コースに分かれて実施しました。埼労連から藤田議長、竹嶋副議長、加藤幹事にも参加してもらいました。また各地域労連にもスポット参加して頂きました。

止まらぬ物価高騰で労働者の暮らしは大変なことを訴え、2月19



日信工業での要請

日(水)に要求を提出するので3月5日(水)の回答指定日に回答するように要請しました。

懇談では「物価高騰はよくわかる」「セキスイ」、「大企業は儲かっているのにリストラしているのはおかしい。雇用は守らないといけない。いっぱい出して経営がおかしくなってもいけない」「(日信工業)、「大企業は初任給を10万円も上げているところもある。中小企業はそうはいかない」(東鋼業)など今の社会情勢に対する経営者のコメントが相次ぎました。

いずれにしても賃上げしないとまらない情勢を経営者は認識している、各支部・分会でしっかりと職場討議を行い要求を練り上げ、要求実現まで闘い抜く構えをつくっていききたいと思います。

(JMITU埼玉地本発)

医労連

埼玉医労連は25春闘に向けた経営者要請行動を始めており、2月



民医労の要請行動

6日(木)は埼玉民医労が医療生協さんたま(経営側2人)に対し、大幅な賃金引き上げなどを求めました。行動には医労連1人、当該の民医労から4人のほか、川口地区労から苗村事務局長、埼労連山崎幹事も参加しました。

日本医労連の春闘統一要求書を提出して話し合いに入りました。

要請では、労働者の生活を守るためにも物価高騰に負けない大幅な賃上げが引き続き必要な状況であり、すべてのケア労働者の大幅賃上げと増員による労働条件の抜本的な改善を求めました。また、回答指定日である3月12日(水)にはかならず回答を示すことや、大幅賃上げを実現すること、非正規

労働者の賃底上げし、正規労働者との均等待遇をはかることなど8項目を要請しました。

経営者側からは物価高騰の影響で、費用が増加し経営が厳しい状況や、県・国への要請も必要と語られました。埼労連から、最低生計費試算調査結果が紹介され、職員的大幅賃上げを求める発言があり、川口地区労からは、人手不足で職員の安全が守らなければ利用者も不安になり、影響が出てしまうこと、安全・安心の医療を提供するために職員の生活・安心・安全をしっかり守ってほしいと発言がありました。

地域の住民のいのちと暮らしを守るためにケア労働者の賃金、労働条件の改善を25春闘で実現するために頑張ります。

(埼玉医労連発)

地公労(宣伝)

地公労(埼玉県職、埼教組、埼高教)は1月29日(水)、第3回賃金・労働条件確定交渉の前に、朝7時45分から県庁前で宣伝を行い、民間労組や埼労連事務局を含め15人が参加しました。当該組織

の訴えとともに、コープネットグループ労組・占部委員長、全労連・全国一般・水野谷委員長もマイクを握りました。

賃金部分の交渉は、県議会12月定例会への条例提案のため11月25日に終了しましたが、当局の回答は物価高騰のなか「勧告通りの改定」から一歩も先に踏み出さない、まったく不十分なものでした。

第3回交渉では、給与制度のアップデート、「欠員」「未配置・未補充」の抜本的解消、月途中採用者への通勤手当の支給、会計年度任用職員の病休の有給休暇、高齢層職員の待遇改善などを求めています。



民間も支援

春闘期に各組合で取り組んだ学習会や団体交渉、ストライキ行動などの記事を埼労連まで寄せてください。よろしくお願ひします。

埼労連 機関誌担当

ふつうに暮らせる賃金水準に 最賃・労働法制宣伝

埼玉連と労働法制改悪反対埼玉連絡会主催の最賃・労働法制に関する定例宣伝が2月8日(土)の午後1時30分から浦和駅東口で行われ、幹事会・非正規部会・最賃公契約委員会のメンバーなど21人が参加しました。



最賃は1500円以上に！

が参加しました。

今回は埼玉連幹事会の後に行つたため、幹事中心でしたが、非正規部会や最賃公契約委員会からも参加があり、にぎやかな宣伝となりました。

「最低賃金の大幅な引き上げ・全国一律最賃制実現」を求める訴えに加え、労働相談フリーダイヤルの入ったポケットティッシュなどを配布しながら、「物価高騰の影響で国民の暮らしが厳しくなっている」「まともな暮らしに賃金めざして声をあげよう」「職場で



署名に協力してくれる人も

の悩みや仕事のトラブルは、悩まず気軽に労働組合に相談を」と呼びかけました。

今回の宣伝では、「働くなかまの春をよぶつどい」の事前宣伝を兼ねて、つどいのチラシと一緒に配布しました。寒さが和らぎ、暖かい日中の宣伝だったため、チラシの受け取りも比較的良く、改めて労働組合を知らない人たちに広く周知するとりくみが重要だと実感できました。

物価高騰などで労働者の不安が広がっているときだからこそ、労働組合の存在を見せるために、25春闘でも各地での宣伝が求められる情勢にあります。

埼玉市民ネットワークが要求を提出

第6回市役所前行動

さいたま市議会2月議会開会日の2月4日(火)午前11時から「市民の声を市政に！埼玉市民ネットワーク」は、第6回市役所前行動を行い95人が参加しました。市民の声を聞かない市長に対して各区からの参加者10人がリレートークしました。

緑区原山プールの存続を求める男性。中央区の大型アリーナ建設に反対する女性は「学校給食室や小学校の体育館にエアコンがなく猛暑のなか、命を守るのか」と怒りの訴え。

南区の義務教育学校問題では谷川弁護士が「弁護士の有志で意見書を提出、意思決定に対して審査請求をしている」と発言。

夜勤明けで駆け付けた埼玉メデイカルセンターの看護師の小林さんが「付属の介護老人保健施設のデイケア事業を3月で廃止の通告があり、さいたま地区労中心に全国の関係病院に呼び



市役所前でコール

かけ短期間に約7000筆の署名を集めた。各区の要求運動と連帯したい」と訴えました。大型アリーナ建設はじめ、公共施設再編計画は当初の見積額の2倍を超える金額(数百億円)が根拠を示さないまま提案されています。1月31日に事業計画の撤回を求めて「共同要請書」を市に提出しましたが、市から撤回拒否の回答がありました。

(さいたま地区労発)

建設産業の民主的発展めざし 賃金・単価引き上げ総決起集会

埼玉土建は1月24日(金)夜、レイボックホール大宮で「賃金・単価引き上げ総決起集会」を開催し、全県から220人が参加しました。

開会は小峰委員長のあいさつから始まり、講演は、国土交通労働組合関東建設支部で副委員長を務め、首都圏共闘では事務局局長も担っている上岡正央氏を招き「国土交通省が労働組合の請求・要求運動を後押し！まさに建設労働組合の出番！大幅賃上げ・大幅単価アップを勝ち取ろう」と題して、第三次・担い手3法についての概要や国交省としての本気度が語られました。最後には「事業主や労働者、労働組合全員で請求・要求運動を実践して賃金単価を引き上げていこう」と話されました。

仲間からの報告では、川越支部の本山亨子さんから、ホームセンターでの手間代や切手代などを単価交渉し、勝ち取った事例が報告されました。さいたま南支部の高岡ジョージさんからは、35年前に単身ブラジルから日本に来て、排水管の洗浄などを行う会社を立ち上げ、現在は40人の従業員を雇用する上での自分自身が持っている3点が話されました。最短でも8年後に令和生まれの建設従事者が活躍することに対して、会場の参加者に技術の継承や胸を張れる建設業界にしていこうと決意が語られました。

児玉産業対策責任者からの基調報告では、仲間一人ひとりが要求への思いを伝え、要求実現に向けて団結し、そのためには組織実増を勝ちとり、7月の参議院選挙で建設産業の民主化に向けて頑張ろうと報告がありました。閉会では石川賃金労働対策部長から「支部で取り組んでいる名刺交換会などに参加し仲間の輪を広げ、一緒に請求要求していこう」とあいさつがあり、最後に参加者全員でプラカードアピールを行いました。(埼玉土建発)



埼玉春闘共闘・埼労連
発行:埼玉労働組合連合会
さいたま市浦和区高砂 3-10-11
TEL:048-838-0771
FAX:048-838-0775
編集内資料 2025年1月28日

専門スローガン「ただかっこよく、要求は実現できる。仲間ととことん話し、団結して異常な物価高騰を止める大奮闘を、労働組合の姿を広く見せる25春闘に！」

埼玉土建が1・24賃金・単価引き上げ総決起集会

埼玉土建は1月24日(金)夜、レイボックホール大宮で「賃金・単価引き上げ総決起集会」を開催し、全県から220人が参加しました。

開会は小峰委員長のあいさつから始まり、講演は、国土交通労働組合関東建設支部で副委員長を務め、首都圏共闘では事務局局長も担っている上岡正央氏を招き「国土交通省が労働組合の請求・要求運動を後押し！まさに建設労働組合の出番！大幅賃上げ・大幅単価アップを勝ち取ろう」と題して、第三次・担い手3法についての概要や国交省としての本気度が語られました。最後には「事業主や労働者、労働組合全員で請求・要求運動を実践して賃金単価を引き上げていこう」と話されました。



仲間からの報告では、川越支部の本山亨子さんから、ホームセンターセキチューでの手間代や切手代などを単価交渉し、勝ち取った事例が報告されました。さいたま南支部の高岡ジョージさんからは、35年前に単身ブラジルから日本に来て、排水管の洗浄などを行う会社を立ち上げ、現在は40人の従業員を雇用する上での自分自身が持っている3点が話されました。最短でも8年後に令和生まれの建設従事者が活躍することに対して、会場の参加者に技術の継承や胸を張れる建設業界にしていこうと決意が語られました。

児玉産業対策責任者からの基調報告では、仲間一人ひとりが要求への思いを伝え、要求実現に向けて団結し、そのためには組織実増を勝ちとり、7月の参議院選挙で建設産業の民主化に向けて頑張ろうと報告がありました。閉会では石川賃金労働対策部長から「支部で取り組んでいる名刺交換会などに参加し仲間の輪を広げ、一緒に請求要求していこう」とあいさつがあり、最後に参加者全員でプラカードアピールを行いました。(埼玉土建発)

所沢ケアユニオンづくりへ介護労働者の「しゃべり場」を開催

埼玉医労連と所沢地区労が所沢ケアユニオンづくりへ向け、1月17日(金)午後6時30分から8時まで、25日(土)は午後2時から3時20分まで新所沢公民館を会場に、介護労働者「しゃべり場」を開催しました。組合未加入の介護労働者(いずれの日も2人ずつ参加)、埼玉医労連、所沢地区労、埼玉連から17日は9人、25日は8人参加して、自身の仕事の様子、介護労働者を取りまく環境などについて、ざっばんな話し合いができました。未組織の介護労働者の方々は、いずれも地区労役員や医療生協さいたまのつながりで声がかかれ参加した方々で、つながりの大切さが実感できました。また、それぞれが「地域とつながりをつくりたい」と参加した動機を語っており、ケアユニオンの役割があらためて重要になっていることがわかった「しゃべり場」でした。



国民新聞埼玉共同会館・埼玉労働組合連合会

前に単身ブラジルから日本に来て、排水管の洗浄などを行う会社を立ち上げ、現在は40人の従業員を雇用する上での自分自身が持っている3点が話され、最短でも8年後に令和生まれの建設従事者が活躍することに対して、会場の参加者に技術の継承や胸を張れる建設業界にしていこうと決意が語られました。

児玉産業対策責任者からの基調報告では、仲間一人ひとりが要求への思いを伝え、要求実現に向けて団結し、そのためには組織実増を勝ちとり、7月の参議院選挙で建設産業の民主化に向けて頑張ろうと報告がありました。閉会では石川賃金労働対策部長から「支部で取り組んでいる名刺交換会などに参加し仲間の輪を広げ、一緒に請求要求していこう」とあいさつがあり、最後に参加者全員でプラカードアピールを行いました。(埼玉土建発)

望月衣塑子さんを招いて学習 第4回教職員平和大集会

1月26日(日)、埼教組・埼玉高校・障害児学校9条の会の5団体による実行委員会主催で、「第4回埼玉県の教職員平和大集会」を開催しました。

「戦争する国づくり」と憲法改悪の動きが急速に強まっているなか、今こそ「教え子を戦場に送るな」の旗を高く掲げ、世代を超えた教育関係者が一堂に会し、学習集会を、と昨年より2回ずつ開催してきました。

今回のメイン講演は、東京新聞社会部記者の望月衣塑子さん。豊富な取材経験を活かしての真実を正面から迫る姿勢と熱い語り。「とにかく元気が出た！」そんな感想が多数寄せられました。

また、高校の青年教員からは、夏に高校生の平和サークルのメンバーといっしょに広島を訪問した経験が報告され、若い世代の教員

が学校現場で平和教育を進めていくことの大切さを強調し、3月には青年部主催の沖縄平和ツアーで学びを深めたいと発言。埼玉の教育の未来を感じ、参加者一同、大いに励まされました。

集会終了後、およそ100人で浦和駅東口までパレード。「国の予算はミサイルではなく、教育へ！」と日曜の午後、浦和の街にその声が響き渡りました。

(埼玉土建発)



160人が参加

(埼玉土建発)

地域の経済について意見交換 7つの商工会を訪問(比企)

比企労連は、1月31日(金)に比企地域の9つの商工会を訪問し、7つの商工会と懇談しました。東松山商工会(写真)では事務局長が応対してくれ、「物価高の影響は大きく、価格に転嫁できない事業所は大変」「下請け単価を大企業が引き上げてくれず、19人の事業所が廃業した」などの状況が話されました。中小零細業者が多いので政府が対策を取らないと本当に困る状況が浮き彫りになりました。

「できる」との受け答えが多く聞かれました。また、比企医師会・比企歯科医師会・東松山薬剤師会に「軍事費の拡大ではなく、憲法をいかした社会の実現と憲法に保障された人権としての社会保障の現にむけたご協力をお願いします。応募の申し入れを行いました。応対した事務員は、「マイナカードのトラブルが多くなっている。紙の保険証ならば……」と答えていました。

(比企労連発)

インボイスについては、この商工会でも「事務が増えたり、実質的な増税であり厳しい」ということが出されました。すぐには変わらないと思うけれども「インボイス廃止の請願」には好意的でした。



東松山商工会との懇談

「『建国記念の日』不承認・軍国主義思想と信教の自由を守る2・11埼玉県民集会」(同実行委員会主催)が2月11日に埼玉教育会館2階ホールで開催され、150人が参加、「平和と憲法を守る」決意を固めました。

講演は一橋大学教授の加藤圭木さん。1990年代後半の所沢高校の「卒業」をめぐる国を挙げての「日の丸・君が代」強制攻撃に對して、当時、所沢高校生として中心的に関わった方です。

講演では、自らの経験を振り返り民主的教育運動の重要性を指摘。さらに、歴史修正主義が強化されてきたこの30年の政治状況や侵略戦争の歴史を学ぶ重要性、大学のゼミ生とともに朝鮮半島侵略の歴史を学んで日韓の「モヤモヤ」を考える書籍「『日韓』のモヤモヤと大学生のわたし」(大月書店)などにまとめた実践について、熱く語りました。

終了後は、寒風のなか浦和駅東口で憲法と平和を訴える駅頭宣言を行いました。

介護労働者の「しゃべり場」開催

埼玉医労連と所沢地区労が所沢ケアユニオンづくりへ向けて、1月17日(金)午後6時30分から8時まで、25日(土)は午後2時から3時30分まで新所沢公民館を会場に、介護労働者「しゃべり場」を開催しました。

組合未加入の介護労働者(いずれの日も2人ずつ参加)、埼玉医労連、所沢地区労などから17日は9人、25日は8人参加して、自身

の仕様の様子、介護労働者を取りまく環境などについて、ざっくばらんな話し合いができました。

未組織の介護労働者の方々は、いずれも地区労役員や医療生協さいたまのつながりで声がかかれ参加した方々で、つながりの大切さが実感できました。また、それぞれが「地域とのつながりをつくりたい」と参加した動機を語っており、ケアユニオンの役割があら

2・11埼玉県民集会

ためて重要になっていることがわかった「しゃべり場」でした。



1月25日のしゃべり場



150人が参加

約30人が集い学習と語り合い 非正規公共協「芽吹き集会」

自治労連埼玉本部非正規公共協は2月16日(日)、さいたま共済会館で「芽吹き集会」を開催、30人近くが参加しました。

「人間らしく働いて暮らせる賃金って?」と題して、埼玉連の龍尾幹事が最低生計費試算調査の結果と意義を講演。「健康で文化的な最低限度の生活のためには具体的に何が必要?」と問いかけ、この取り組みは人権を守る闘いであると強調し「調査の結果を、みなさんが組織の内外に広げてほしい」と呼びかけました。

講演の後、県本部・大場書記長の春闘方針提起があり、その後には浦狩非正規公共協事務局長(富士見学童労組)が基調報告。「会計年度任用職員は雇い止めにおびえ、業務委託や指定管理先の事業所で働く労働者も憲法に規定された権利が保障されていない。本気で要求実現に取り組んでいこう」と訴えました。

他にも、春日部学童住民訴訟の経過と意義について県本部・林敏

夫さんが解説し、川越市保育園会計年度任用職員の会、自治体一般東松山学校給食センター、戸田学校労など各単組からの取り組み報告がありました。

「人間らしく働いていくことの意味を考えることができた」「集まり学習することの大切さを学んだ」との感想が聞かれました。

非正規公共協では25春闘に公務員・民間一体で取り組み、単組を訪問し仲間を増やす活動にも取り組んでいくことを確認しました。



約30人が参加

地域経済の発展めざし 春日部労連が労組・団体訪問

春日部労連は2月5日(水)に地域の中立・連合労組などを訪問して懇談しました。

中立労組訪問では、日新工業春日部労働組合、春日部自動車教習所労組、平山精密製作所労組を回りました。自動車教習所労組は委員長さんと会えて、埼玉連の最低生計費試算調査結果の資料、春日部市職が会計年度任用職員の時給は通常の3倍にあたる150円アップの1656円を勝ち取ったこと、地域では全国一律最低賃金制度の実現に向けて頑張っていることを伝えました。対応は親切で丁寧でした。

昨年連絡が取れずに訪問できなかった、私鉄総連・東武鉄道労組に朝一番に訪問しました。「春闘の激励にやってきた」と伝えるところ「ご丁寧ありがとうございます」といいますとあいさつを交わすことができました。2月中旬に会社側と交渉、3月14日回答の予定とのことでした。要求額は1万3000円。お茶を飲みながら、今年度

のメーデーのことが話題になり15分ほど懇談することができました。メーデー集会などで顔なじみもあって、楽しいひとときでした。

また、昨年の総選挙では小選挙区で自民党・土屋議員、比例復活で立憲民主・三角議員が当選したので、地元事務所を訪れ、全国一律最賃制度確立の法案提出のときはぜひ協力をと要請しました。春日部商工会議所では所長が不在で、懇談できませんでしたが、春

日部市の会計年度任用職員が大幅な時給アップを勝ち取ったことを伝え、地域としても頑張っていることを伝えてきました。(春日部労連発)



埼玉労働共同・埼玉連
発行:埼玉労働組合連合会
さいたま市浦和区高砂 3-10-11
TEL:048-838-0771
FAX:048-838-0775
継続内資料 2025年2月13日

埼玉連25春闘「速報」
活動レポート
2025年 第10号

春闘スローガン「ただかかって、要求は実現できる。仲間ととことん話し、目標して異常な物価高騰を上回る大幅賃上げと、労働組合の姿を良く見せる25春闘に」

2・11「建国記念の日」反対集会～戦後80年、侵略の歴史から平和を考える

『建国記念の日』不承認・軍国主義思想と信教の自由を守る会・11期市民集会(向実行委員会主催)が2月11日に埼玉教育会館2階ホールで開催され、会場いっぱい150人が参加、「平和と憲法を守る」の決議を固めました。

講演は一橋大学教授の加藤木本さん。加藤さんは、1990年代後半の所沢高校の「卒業」をめぐっての「日の丸・君が代」強制攻撃に対して、当時、所沢高校生として中心的に関わった方です。講演は、自らの経験を振り返り、民主的教養運動の重要性を指摘。さらに、歴史修正主義が強化されてきたこの30年の政治状況や侵略戦争の歴史を学ぶ重要性、大学のゼミ生ととも朝鮮半島侵略の歴史を学んで日韓の「モヤモヤ」を考える書籍「加藤木本監修『日韓のモヤモヤと大学生のわたし』(大月書店)などにまとめた実践について、熱く語りました。

終了後は、寒風のなか浦和駅東口で憲法と平和を訴える街頭宣伝。16人が参加し、7人がリレートーク、200ほど用意した憲法フィッシュがあとという間になくなりしました。(高教発表)

春日部労連が2月5日に中立労組、国会議員地元事務所を訪問

春日部労連は2月5日(水)、地域の中立・連合労組などを訪問して懇談しました。中立労組訪問では、日新工業春日部労働組合、春日部自動車教習所労組、平山精密製作所労組を回りました。自動車教習所労組は委員長さんと会えて、埼玉連の最低生計費試算調査結果の資料、春日部市職が会計年度任用職員の時給は通常の3倍にあたる150円アップの1656円を勝ち取ったこと、地域では全国一律最低賃金制度の実現に向けて頑張っていることを伝えました。対応は親切で丁寧でした。

昨年連絡が取れずに訪問できなかった、私鉄総連・東武鉄道労組に朝一番に訪問しました。「春闘の激励にやってきた」と伝えるところ「ご丁寧ありがとうございます」といいますとあいさつを交わすことができました。2月中旬に会社側と交渉、3月14日回答の運びとなっていることでした。要求額は1万3000円。お茶を飲みながら、今年度のメーデーのことが話題になり15分ほど懇談することができました。メーデー集会などで顔なじみもあって、楽しいひとときでした。

また、昨年の総選挙で小選挙区で自民党・土屋議員、比例復活で立憲民主・三角議員が当選したので、地元事務所を訪れ、全国一律最賃制度確立の法案提出のときはぜひ協力をと要請しました。春日部商工会議所では所長が不在で、懇談できませんでしたが、春日部市の会計年度任用職員が大幅な時給アップを勝ち取ったことを伝え、地域としても頑張っていることを伝えてきました。(春日部労連発)

日部市の会計年度任用職員が大幅な時給アップを勝ち取ったことを伝え、地域としても頑張っていることを伝えてきました。(春日部労連発)

日部市の会計年度任用職員が大幅な時給アップを勝ち取ったことを伝え、地域としても頑張っていることを伝えてきました。(春日部労連発)

全労連共済からのご案内

年金共済

魅力たっぷり「年金共済」募集中！
 ・資産形成にもってこい！ 組合員だけが加入できる貯蓄型の保険です。

【若者こそメリット大】

オンラインセミナーのご案内】

4月18日(金)

12時~12時45分

「はじめての資産形成は『年金共済』で！」

どなたでも事前申込不要・入室自由です。

Zoom・ID

8300 5457 7413

パスコード 133996

社会人なら知っておきたい「お金の知識」が学べます。

全労連共済埼玉県支部の受付は



5月10日までとします。

（ご利用いただけるのは、全労連共済組織共済加入の組合に所属している組合員となります）



おうちで安心共済

いよいよ4月から「おうち安心共済」が始まります！

気候変動により、どこでも自然

災害が起こる可能性が広がっています。だから自然災害に対する備えを充実させたい。加入者の要望にこたえる形で「火災共済」に自然災害特約が新設されます。

今、特約掛金プレゼントキャンペーン実施中。1年間、基本掛金だけで特約分も保障となります。

*共済に関するお問い合わせは、所属組合もしくは埼労連の共済担当まで。

3月の上映案内

3月の上映は「〇月〇日、区長になる女。」です。

2022年の杉並区長選挙に立候補した岸本さん。ヨーロッパに暮らし、NGO職員として世界の自治体における「公共の再生」を調査してきた人です。投票日2カ月前に帰国した岸本さんの区長選挙を通して、住民自治「決めるのは私たち」の考えのもと、住民が立ち上がり闘った市民選挙の裏側を「自分ごと」として、カメラで捉えた草の根ドキュメンタリー映画です。

【日時】3月27日(木)

埼玉会館小ホール

①10時30分〜 ②14時〜

③18時30分〜

*今回は特別料金となります。

埼労共専用当日精算券のご利用の場合1200円です。



久しぶりに乗馬体験を幹旋

体験乗馬はいかがでしょうか！

乗馬クラブ・クレイン伊奈の「乗馬試乗会」招待券を埼労連加盟組合に配布しました。

【利用概要】

- ・費用 騎乗料は無料
- （ただし、装具レンタル料と保険料として1860円必要）
- ・所要時間 約90分うち騎乗時間20分（他の時間は馬とのふれあい、既見学など）
- ・対象 小学生〜70歳の方



・利用期限 4月13日まで

*ご利用を希望される方は、直接「乗馬クラブ・クレイン伊奈」にお問合せ・ご予約ください。

0480-92-4611

フードバンク

第108便

1月末から2月までのフードバンク活動としては、熊谷地域労連から味噌が寄せられ、SUから野菜ジュースが寄せられました。

2月14日(金)に第108便として、フードバンク埼玉に届けました。今回は9・35キログラムでした。



フードバンク第108便